

登録コード	MA007700	開講年度	2026			
授業科目名	臨床判断解析学（外科系）				担当教員	青木 薫
英文授業名	Clinical Assessment in Surgery				副担当	金井 誠・池上 俊彦
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限 月曜・5時限	対象専攻 / 学年
講義室	保健学科2 4 1 講義室		授業形態	講義	授業科目区分	選択科目，（周麻酔期）必須科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(医科学)・医科，MS25カリ(医科学)・医科，MS24カリ(医科学)・医科，MS23カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				外科的疾患について疾患概念、治療法、治療効果法を解析する方法を説明することができる。	
(2)授業の概要	オムニバス講義です。専門性の高い医療を実践するのに必要な外科系疾患に関する病態生理について理解する。 このため、疾患概念・治療法・治療効果を解析するための方法論をふまえながら，外科系疾患の病態生理について論述する。 本授業は、担当教員の外科系医師としての実務経験を活かして講義を行います。 講義資料等はeALPSをご確認ください。					
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	1. 外科治療を要する肝疾患の病態生理や治療法について修得する。 2. 肝臓移植についての専門知識を深める。 3. 産婦人科疾患に関する病態と治療について修得する。 4. 妊産婦に関連した最新の医療情報についての専門知識を深める。 5. 整形外科疾患を基礎科学から理解する。 6. 泌尿器科疾患に関する病態，診断，治療について修得する。					
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	1. 外科的治療を要する肝疾患の病態生理について説明できる。 2. 肝切除の周術期管理について説明できる。 3. 肝移植の現状と課題について説明できる。 4. 肝移植の周術期管理，治療成績や問題点について説明できる。 5. 生殖医療の現状を把握し，不妊症・不育症の原因および治療法を説明できる。 6. 妊娠高血圧症候群等のハイリスク妊娠の病態生理および妊婦管理方法を説明できる。 7. 静脈血栓塞栓症の病態生理を理解し，周産期・周術期の予防法を説明できるようになる。 8. 婦人科疾患，特に悪性腫瘍の病態生理と治療法を説明できるようになる。 9. 骨・軟骨関連細胞を説明できるようになる。 10. 骨・軟骨代謝を説明できるようになる。 11. 整形外科疾患を基礎科学から説明できるようになる。 12. 泌尿器系の本項目については第1回目の講義の際までにお伝えします。					
(5)授業計画	01回.4月13日4時限 外科的治療を要する肝疾患 (池上俊彦)【222講義室】 02回.4月13日5時限 肝切除時の周術期管理 (池上俊彦)【222講義室】 03回.4月20日4時限 肝移植の現状 (池上俊彦)【222講義室】 04回.4月20日5時限 肝移植の周術期管理 (池上俊彦)【222講義室】 05回.4月27日4時限 骨の構造・機能・発生 (青木 薫) 06回.4月27日5時限 骨の病態・病理・修復と再生 (青木 薫) 07回.5月 1日4時限 関節の構造・生化学 (青木 薫) 08回.5月 1日5時限 関節の修復・再生、病態 (青木 薫) 09回.5月11日4時限 生殖医療の現状 (金井 誠) 10回.5月11日5時限 ハイリスク妊婦の管理 (妊娠高血圧症候群,多胎妊娠,合併症妊娠など)(金井 誠) 11回.5月18日4時限 下部尿路機能の調節機構 (泌尿器科 今村哲也先生) 12回.5月18日5時限 下部尿路機能障害の分類と病態生理 (泌尿器科 今村哲也先生) 13回.5月25日5時限 下部尿路機能障害の診断と治療 (泌尿器科 齊藤徹一先生) 14回.6月 1日4時限 異常分娩の病態生理 (金井 誠) 15回.6月 1日5時限 婦人科疾患，とくに悪性腫瘍 (金井 誠)					
(6)授業の進め方	講義、ディスカッション等					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	授業計画に沿い、毎回の授業まえにeALPSにて配布された授業用に資料を確認し、関連した文献等の情報を収集し精読することを通じて、講義中のディスカッションに積極的に参加できるようにするとともに、情報収集能力の向上に努めてください。 事後は授業内容で疑問に思った事項を文献検索するなどして解決してください。 不明な点は何なりと教員に尋ねていただいて結構です。					
(8)成績評価の方法	担当教員毎に課す課題・レポートの結果を、それぞれ100点満点として採点し按分する。					
(9)成績評価の基準	それぞれの教員の担当授業時間に応じて按分したものを最終評点とする。 最終評価点が、学外から高い評価を得られるレベルにあれば「秀:100-90点」、教員を感心させるレベルにあれば「優:89-80点」、十分なレベルにあれば「良:79-70点」、達成目標を満たせば「可:69-60点」、不十分であれば「不可:59点以下」とする。					

(10)学生へのメッセージ並びに質問,相談への対応	この授業は,外科系領域に関係する保健学科の教員と医学科(泌尿器科)の教員によるオムニバス授業です。質問は,授業中もしくは終了後にいつでもしてください。 また,相談・連絡などは,原則的にメールでお願いします。 青木: kin29men@shinshu-u.ac.jp 池上: tikegami@shinshu-u.ac.jp 金井: makotok@shinshu-u.ac.jp
【テキスト,教材,参考書】	特に指定せず